



KUMAMOTO

GREEN Rotary-Club

Kumamoto green rotary·club district 2720 rotary international

The Weekly Bulletin

ロータリー：
変化をもたらす

2017~2018年度テーマ

国際ロータリー 「変化をもたらす」 — R.I.会長 イアンH.S.ライズリー

地区方針 「ロータリーを奨励し、ロータリーを楽しもう」

R.I. 2720 地区 ガバナー 永田壯一

熊本グリーンRC 「ロータリーを楽しみ、会員相互の研鑽・親睦を深めよう」

熊本グリーンRC会長 河野景治

■例会日：毎週月曜日 18:30～19:30
 ■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
 TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：河野景治 ■幹事：中島三千代 ■会報担当：長野義文
 ■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
 TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー
第2720地区

熊本グリーンロータリークラブ週報

第1278回

2017-2018年度 第15回

【例 会】

1. 開会・点鐘 18:30

2. 食事と交歓

<黙祷>

土井口 勝名誉会員平成29年11月4日にご逝去されました。哀悼の意を表し黙祷を捧げます。

「手に手つないで」(ロータリーソング)

来訪者紹介 (河野 景治 会長)

来訪者：熊本RC 立石 和裕 君

友情の握手

会長スピーチ (河野 景治 会長)

本日は例会冒頭に黙祷をいたしましたが、土井口勝名誉会員が、一昨日・4日午前2時13分にご逝去されました。満91の歳であられました。ご冥福をお祈りするばかりでございます。すでに永年の会員はご存知のことではございますが、土井口会員は昭和30年に生地である玉名市にて獣医科医院を開設され、昭和55年に玉名RCにて会長を、そして、昭和59年に現在地の熊本市保田窪（東バイパス沿い）に熊本動物病院を開院、平成元年の当クラブ創立ではチャーターメンバー、平成4年に当クラブ会長、平成3年2月に「ロータリー情報集」の執筆・初版出版（単独クラブの情報集としては稀

【2017年11月6日】

の当クラブ創立ではチャーターメンバー、平成4年に当クラブ会長、平成3年2月に「ロータリー情報集」の執筆・初版出版（単独クラブの情報集としては稀有な11版39000冊、2010年まで全国各地のロータリアンの手に届きました：平成5年、8年ガバナー賞受賞）、そして平成13年には熊本水前寺公園RC の設立尽力のため転籍、平成14年に当クラブに戻られて、平成17年9月3日より当クラブ最初の名誉会員であられました。私事ですが、平成9年のクラブ入会前のオリエンテーションで推薦人の故・久保田会員と一緒にお越しいただいたのが最初でございました。以来、入会後も例会や会合を通じてご指導を賜り、敬愛させて頂いております多くの先輩ロータリアンのお一人でございました。真に感謝する次第でございます。本日は、「ロータリーの友・1992年2月号」に土井口会員が寄稿されました、ロータリー文庫収蔵「職業奉仕についてこう思う」の写しを配布いたしました。最終章が私は好きで、この度も読み返し、土井口先生を偲んだ次第でございました。



卓話予定

11/13 ★熊本北RCとの合同例会 例会終了後に「もっとも」にて懇親会あり。

「時代と共に変わる時間と時計の価値」荒木 一之 会員卓話

11/20 福島 和見 会員 担当

11/27 石浦 順一 会員 担当

[熊本グリーンRC ホームページアドレス] <http://www.kg-rc.com/>

出席報告

(栗山義則クラブ管理運営委員(出席担当長))

	会員総数	21名	出席率	
10月30日	出席免除会員数	2名	57.89%	
	計算上会員数	19名		
	出席会員数	11名		
10月13日	前回の出席会員数	16名	80.00%	
	メークアップ数	0名		
	修正出席会員数	16名		
メークアップ済み会員及びメークアップ訪問先				
なし				

委員会報告

・地区大会での役割分担について

報告者：河島 一夫地区副幹事

来年3月に行われます地区大会での私どものクラブの担当は、懇親会です。

懇親会担当は、他に熊本クラブでして、熊本クラブの副監事の櫻井会員が担当長です。熊本クラブから委員が6名出ますので私どものクラブから2名選出しなければなりません。後日、指名しますのでよろしくお願ひ致します。尚、近々委員会を行います、その時には選出された方はよろしくお願ひ致します。

その他の報告

「指名委員会」への次年度理事・役員の選出依頼】報告者：河野 景治会長

熊本グリーンロータリークラブは例年、次年度の理事・役員の選出方法はクラブ細則第3条第2節により、パスト会長、現会長、次期会長で構成する「指名委員会」で指名し、それを「年次総会」で承認する方法を採用しています。

又、クラブ細則により会長は、その「指名委員会」に理事候補者の指名を「依頼」することを、「年次総会」の1ヶ月前のクラブ例会に於いて、会員の皆様に承認を求めなければならない。とあります。

つきましては、本日の例会の席上において皆様に「指名委員会」に次年度理事・役員の選出を「依頼」する事のご承認を得たいと存じます。御承認戴ければ拍手をお願い致します。

→(承認)

尚、当クラブの次年度理事・役員を決定する「年次総会」は、クラブ細則第5条第1節に基づき、12月第3週例会となっておりますので、今

年度は12月18日(月)例会となっておりますので、ご出席の程をお願い致します。

スマイル

(仙波洋八クラブ管理運営委員(スマイル担当長))

- ●河野 景治 君、荒木 一之 君
- 「熊本RCの立石様のご来訪に感謝致します。9月のガバナー公式訪問、10月の1Mと、ホストとして忙しいロータリーライフでしたが、本日は少しあ落ち着いた例会になるかと存じます。これから12月~新年と別の意味でまた忙しくなるかと存じます。宜しくお願ひ致します。」
- ●山下 佳介 君
- ①「石浦会員の久々の出席に、スマイルします。」
- ②「私が所属しているフレンドシップフォースという会で昨日からアメリカのサンタバーバラ州より、シニアの方々21名のホームステイを受け入れています。今日は福島会員と共に2,000坪の個人宅でガーデンパーティーに参加してきました。明日はイルカウォッチングです。」
- ●本田 悟士 君
- 「熊本RCから立石様のご来訪、それと石浦会員のご出席、心から歓迎いたします。また「創立30周年について」のクラブフォーラム、活発で実のあるものとなるよう私も励もう!と思ったのですが妙案が浮かびません…。とりあえずスマイルします。」
- ●河島 一夫 君、大友 利行 君、田中 純司 君、長野 義文 君、栗山 義則 君
- 「南から来る台風が北風を呼び込んで、その度に秋が深まってきます。ご自身に風邪をひき込まないようスマイルです。」

3. 例会プログラム

河野 景治会長による基調卓話

クラブ・フォーラム「創立30周年記念式典について」

1. これまでの周年事業の説明
2. 30周年記念行事の現時点での概要
3. グループディスカッション(テーブルごと)
4. 各グループ報告

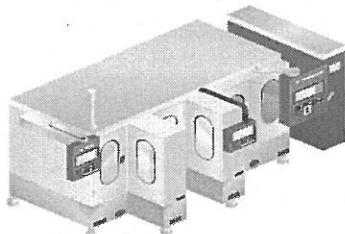


職業卓話 自動化装置ライン

PLC 制御について

熊本グリーン RAC 荒木優祐

本日は私の職業内容について、お話をさせていただきます。現在、私は部品または製品組立てを行う自動化装置のソフトを設計しています。

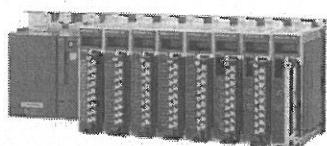


イメージ図

実は装置を制御する方法は主に大きく分けて2つの方法があります。

- ① PC(パソコン)を使って制御をする方法
- ② PLC という機器を使って制御する方法

現在私は②の PLC を使った機器を使って自動化装置のソフト設計を行っています。

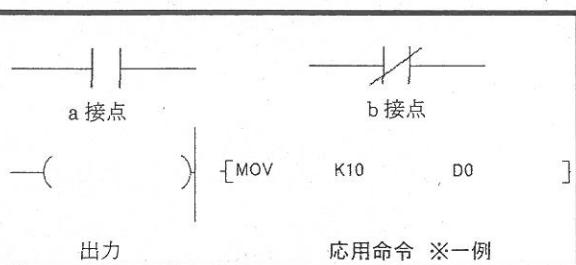


PLC 装置

PLC は小型コンピュータの一種で、ラダー言語を使ってプログラムの作成を行います。

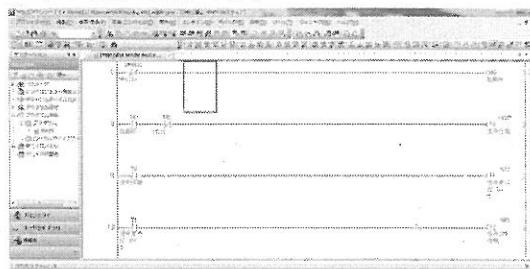
コンピュータが発達した現在でも多くの産業用機器装置等に使われています。

ラダーは、「はしご」という意味をもち、リレー回路を図記号化したもので、PLC が開発される前は多くのリレーを使って機器の制御が行われていました。

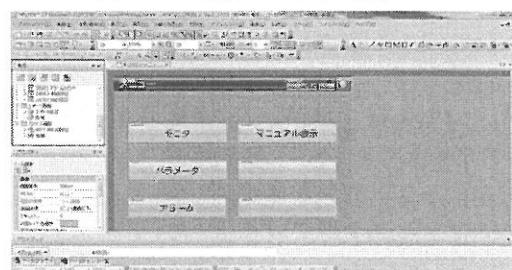


ラダー言語に使われる図記号

このラダー言語を使い、職場でプログラムの作成や装置をスイッチで操作、もしくは装置の稼働情報を閲覧できるタッチパネルの画面作成を行っています。また作成するにあたり、装置がどのような順序で動作していくのかを把握し、誰もが分かるソフトを作成していくことが重要です。



ラダーソフトを使いプログラム作成



スイッチ操作や稼働情報を閲覧できる画面の作成

ソフト作成の流れについては下記の順序で行なっていきます。

- ① 事前資料作成

↓

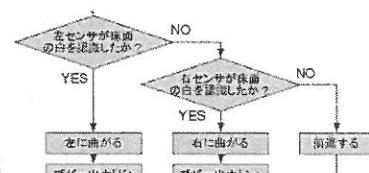
- ② プログラム作成

↓

- ③ 動作をパソコンでシミュレート

↓

- ④ 装置本体にインストール後動作確認



自動化装置はソフト設計でだけではなく機械設計、電気設計を通じて装置全体が完成します。今回の卓話を通じて、自動化装置に PLC という機器が使われていることを知っていただければ幸いです。

寄付金速報 — 10月の米山月間に向けて —

8月までの寄付金は前年同期と比べて6.3%増（普通寄付金：3.5%増、特別寄付金：11.9%増）となりました。今月は大口法人寄付をいただいたことにより、8月単月のみで1億円を超えました。これは2001年度以来16年ぶりです。皆さまのご支援に厚く御礼申し上げます。当財

団は内閣府より「公益財団法人」の認定を受けているため、当会への寄付金には所得税・法人税の税制優遇を受けることができます。相続税も非課税となります。財団設立50周年の米山月間には、ますますのご協力を賜りますようよろしくお願ひいたします。

— さまざまな寄付のカタチ —

当会第2550地区理事をおつとめいただいている飯村慎一氏から1千万円の法人寄付をいただきました。同氏は今年3月、地元の宇都宮大学へ1億1千万円を寄付し、経済的理由で修学困難な日本人学生への支援にあてたことで知られています。飯村氏からコメントをいただきました。

【飯村理事より】このたびは米山奨学会へ寄付の機会を与えていただき、ありがとうございました。国籍にかわらず、次世代の人材を育て、平和の大使を育成することは私たちの責務だと思っています。米山梅吉翁の平和の精神が今ほど求められている時期はないのでしょうか。近隣諸国の政情は不安定ですが、政治家にはできない事を、根気強く、民間の力で、少しでも実現していきたいと思っています。

理事会・評議員会報告 — 米山梅吉記念館で初開催 —

理事会（8月18日開催）および定時評議員会（9月8日開催）が以下の通り開催されました。

今回の理事会、評議員会は、財団設立50周年を記念して、初めて（公財）米山梅吉記念館（静岡県長泉町）で開催しました。各日の出席者は、それぞれ会議の前に、記念館近くの米山梅吉翁のお墓を訪れ、墓前で一人ひとり手を合わせました。



今年の米山月間資料は新作DVD入り！

10月はいよいよ米山月間。毎年9月下旬には、全クラブへ最新資料をお送りしています。今年の目玉は、財団設立50周年記念DVD「世界へ届け 米山の懸け橋」（15分）です。必ず例会でご視聴ください。そのほか、会員数分の最新版『豆辞典』、50周年記念誌・記念グッズ（ネクタイとスカーフ *数量限定）申込用紙、事業

なお、理事会・評議員会とも、各議案はいずれも原案通り承認されました。

第十八回理事会 議長：小沢一彦理事長
出席者：理事23人 監事2人

【主な議題】評議員、理事後任候補者の件、2016年度事業報告および附属明細書承認、2016年度計算書類承認、財団設立50周年記念式典の件等

第八回評議員会 議長：市川紹佐磨評議員
出席者：評議員21人、常務理事・監事7人

【主な議題】2017年度評議員選任、2017年度理事選任、2016年度計算書類承認等



報告書など
が同封
されてい
ます。ぜひ
ご活用く
ださい。